



OSAKA
SAKUYAHIME
AWARD

第4回 大阪サクヤヒメ表彰

受賞者一覧

今後のさらなる活躍が期待され、
後進のロールモデル(模範)となる女性リーダーたち

大阪サクヤヒメ大賞



やまうち ちづる
山内 千鶴

● 日本生命保険相互会社 取締役 常務執行役員

1975年大阪本店に入社。総務部、支社窓口、人事部等を担当。1999年に総合職へ転換後、営業やお客様サービスの現場等を経て、2008年新設の輝き推進室初代課長として女性活躍推進を担当。女性活躍推進を経営戦略に位置付け、両立支援ハンドブックの作成や育児中従業員の情報交換会開催など、女性のキャリア形成支援と両立支援に尽力。2012年から課長塾や管理職向けフォーラム等を通じて、マネジメント層の意識改革や女性のキャリア形成を推進した結果、女性管理職が192人（2008

年）から799人（2019年）と大幅に増加。また、大阪本店における女性管理職比率が約半数（全社平均19.9%）となり、全国を牽引した。2012年に初孫が生まれ、女性の活躍には男性の家事育児参画が重要であると確信。男性育休取得推進に積極的に取り組み、2012年に9人だった取得者数が2013年に496人（取得率100%）となり、6年連続100%を達成。2014年に大阪本店リニューアルを部長として手掛け、直近はCSR推進部の初代部長と2018年新設の健康経営推進本部の初代本部長を務める。2019年に常務執行役員、7月より同社初の女性取締役に就任。

大阪サクヤヒメ賞



ありもと まなみ
有本 真奈美

関西電力株式会社 国際事業本部
国際企画部門 国際部長

2001年に特別管理職登用。営業部門にてお客さま対応や企業および家庭への電化販売促進業務に従事。

2008年に国際部門の役職者に就任後、黒部ダムに比べて貯水容量が約10倍を誇るラオスの水力発電プロジェクトに財務担当副社長として携わり、融資契約をはじめとする諸契約の締結を実現。2018年国際事業本部 部長に就任。投資中の10数件の海外プロジェクト責任者として国内外150人の部下の指揮にあたる。海外経験の長い社員が講師役を担う若手社員向けの自主勉強会を開催し、若手女性に積極的に海外出張・赴任の機会を与える等、人材育成にも注力している。

大阪サクヤヒメ賞



きたがわ みちこ
北側 美智子

株式会社池田泉州銀行
北野田支店 支店長

1982年入行。転勤や産休復帰の度にキャリアチェンジを経験し、営業活動を含むほぼ全ての業務に従事。

女性営業を育成するプロジェクトに抜擢。2児の育児と両立させ、営業担当者としての地位を固め、トップランナーとして活躍。営業課長として、所属店以外の店舗の営業も管轄し、当初目標の3倍近い業績を残す。2014年金剛支店の支店長に昇格。支店長として営業店表彰を10期中7期受賞するなど成果を上げる。女性活躍支援策の検討会で制度や運用の課題・問題点を提示し、就業環境改善に向けた提言を行うなど、ダイバーシティ推進にも貢献。2019年10月より現職。

大阪サクヤヒメ賞



きたむら みちこ
北村 充子

象印マホービン株式会社 経営企画部
事業推進グループ グループ長

品質保証部で試作品の商品テストを担当した後、商品企画担当として開発部に異動。社内での先駆けとして

産休育休取得後に職場復帰し、育児と両立しながら調理家電、ステンレスマグ、保温弁当箱等の商品企画を担当し成果を上げる。入社21年目で管理職に登用、23年目で女性初の部門長に就任。調理家電や生活家電の商品開発を主導。2017年プロジェクトマネージャーとして、同社初の常設レストラン「象印食堂」（2018年大阪難波にオープン）の立ち上げを牽引。出店後8ヶ月間の来客数が計画比138%を達成し高いPR効果を得るなど、プロジェクトを成功に導いた。

大阪サクヤヒメ賞



さわい たえこ
澤井 妙子

株式会社大つる
専務取締役

1988年に事務の短時間パートとして入社。食に対する興味と知識の豊富さで業務範囲を広げ、係長、部長

を経て2010年専務取締役に昇進。惣菜・おせち販売を行う同社唯一の営業として会社のブランディング戦略を実行し、大手顧客の獲得に成功。過去最高の売上増1億円を達成するなど、毎年売り上げを増加。社内活性化のために7年連続で高校生新卒採用を行い、20代比率を72%に高める一方、自らお誕生日会や女子会を開催し社員の良き相談相手となることで、働きやすい環境づくりに注力し、離職率を下げた。スイーツの新商品を開発するなど、新分野の展開にも積極的に取り組む。

大阪サクヤヒメ賞



さわだ ゆみこ
沢田 裕美子

株式会社大林組 建築事業部企画担当部長
兼 建築事業部企画部企画課長

1987年入社。土地活用や開発プロジェクト立案を担当し、1989年総合職へ転換。残業の多い職場で工夫しながら子育てと仕事を両立。経済団体への出向を2回経験し、ベンチャー企業の支援や、「水都大阪2009」での河川を活かしたまちづくりのためのイベントに取り組む。現在は発注者への提案資料をとりまとめる専従組織の責任者として、社内各部門と連携し、年間40～50件の施行・技術提案を主体とする業務を担当。組織力を強化するため、提案実績のデータベース化、業務フローや標準シート作成による業務量標準化、課内勉強会開催による業務効率化等を推進している。

大阪サクヤヒメ賞



なかがわ さちこ
中川 祥子

田辺三菱製薬株式会社
中国事業統括室 室長

薬剤師の専門性を生かして入社し、製品開発の分野で成果をあげる。医療事故が生じ社会問題となったへパリン入り生理食塩水を「プレフィルドシリンジ製品」として対策品を開発。医薬品包装のユニバーサルデザインの製品化を行い、グッドデザイン賞等を受賞。難病治療薬のプロダクトマネージャーとして国内トップシェアを築いた後、営業研修部長として大阪を中心に全国の女性営業職のキャリアアップを推進。2017年より事業統括室室長として赴任した中国で、新規に中国政策の先読みをした難病治療薬開発戦略を提案。政府当局から優先審査権を得る快挙をあげた。

大阪サクヤヒメ賞



まき かよこ
牧 香代子

有限会社リンクコーポレーション
代表取締役

2003年起業。大阪の外国人観光客が増えることを願い、商店街での定期的な語学研修や文化の違いを理解するセミナー、インバウンドの悩み事を相談できる企業交流会を開催。2012年から7年間継続してインバウンド対策の多言語大阪地図を制作。2013年にバル企画を実施するなどして、千日前界隈の路地裏を「ウラなんば」として人気スポットに押し上げた。2017年に大阪弁を知ってもらおうきっかけとして、大阪弁のイントネーションと意味を英語表記した「オオサカ学習帳」を制作。企業と組織と地域の連携を取る「人と人とをつなげる力」で大阪の活性化に尽力している。

大阪サクヤヒメ賞



まるやま みほこ
丸山 美帆子

国立大学法人大阪大学 大学院工学研究科
日本学術振興会特別研究員 (R P D)

タンパク質や医薬品化合物の結晶化技術、半導体結晶の開発など分野横断的な研究を行い国際的な成果を上げてきた。この期間に3回の出産を経験、種々の制度を積極的に利用し研究とライフイベントを両立、書籍「理系女性のライフプラン」(2018年6月)を出版。自身を含む多様な研究者たちの経験を紹介し、後輩を励ます活動に努める。女性が少ない研究職において新しいスタイルを切り拓きながらアウトリーチも積極的に取り組み、幅広く活躍。2018年に尿路結石症を隕石学的な観点から理解して新しい予防・治療方法を目指す多分野連携プロジェクトを立ち上げた。

大阪サクヤヒメ賞



みずかた ともこ
水方 智子

パナソニック健康保険組合立
松下看護専門学校 副校長 兼 教務部長

1985年から看護師、1991年から看護教員として看護専門学校に勤務。出産・育児等での3年間のプランクを経て復帰。2002年から現学校に勤務し、2010年から現職。アクティブラーニング型の授業を導入するなど学校全体の授業改革を進め、看護教育の質的向上をはかることで在校中の休退学者数減少、入学志願者数増加、収支改善をはかる。また、就職の受け入れ側とも教育研修体制の整備を進め、入職後の定着率も上昇。大阪府看護学校協議会の運営にも参画し、2013年度から副会長を務めるなど、大阪を拠点に全国の看護教育の質の向上に貢献中。



大阪サクヤヒメ大賞受賞者



あおやま ゆうこ
青山 祐子

亜木津工業株式会社
本社管理部 部長

2012年入社。営業アシスタントとして優れた顧客対応で業績向上に貢献。本社管理部経理課に異動後、ITを活用した業務効率化を推進。3児を育てながら第一種衛生管理者の資格を取得し、安全衛生を向上。大阪ものづくり優良企業賞2018「大阪の元気！ものづくり企業 匠」受賞にも貢献。2015年管理部課長、2017年に管理部部長に抜擢される。



あぼ しづえ
阿保 志津恵

凸版印刷株式会社
西日本事業本部（関西）総務部 課長

1998年入社。自身の出産・育児経験を踏まえ、仕事と育児の両立に関するノウハウの共有や、ネットワークづくり、職場内の理解を促進する「はぐくみプログラム」（2016年キッズデザイン賞男女共同参画担当大臣賞受賞）を推進。育児休業中の社員が感じる職場復帰に向けての不安や、育児をしながら働き続ける社員が感じる将来への不安を軽減した。2018年課長に昇進。



いとう かずよ
伊藤 嘉寿代

レンゴー株式会社
人事部長代理 兼 女性活躍推進室長

2014年人事部女性活躍推進室の初代室長に就任。正社員女性比率が1割に満たない中、女性だけでなく、上司（主に男性）に対するマネジメント能力強化のための研修を企画・実施し、意識改革を図る。男性の育児休業取得率を大幅に引き上げ、えるぼしやプラチナくるみんの認定を受ける水準にまで女性活躍推進を牽引。



いとう なおみ
伊藤 奈緒美

株式会社ノットコーポレーション
取締役兼R事業部マネージャー

2006年に営業職として入社。築年数の経過したビルや賃貸マンション等収益物件のオーナーに対するリモデルの提案（再構築）を担当。実績が評価され同社初の女性マネージャーに就任。デザイナーやアシスタントに女性を登用したチーム編成で女性の感性を生かした親しみやすい空間を実現し、業績拡大に貢献した。2018年に取締役就任。



いわ なつみ
岩 夏実

株式会社福市
阪急うめだ本店 Love&sense 店長

2014年入社、2年目よりフェアトレードのセレクトショップ「Love&sense」にて店長業務に従事。年齢やキャリアに関係なくチームをまとめ、店舗売上を前年比110%のペースで伸長させた。2016年開催の世界フェアトレード連盟のアジア会議で約100名の出席者にプレゼンテーションを実施。大阪のイメージアップに大きく寄与した。



うえき まりこ
植木 まり子

パナソニック ビジネスサービス株式会社
広域営業本部 営業企画部 部長

入社後6年間営業を担当。全国営業トップの売上で社内各賞を受賞。チーム長等を経験後、社内コンサルティング部門に異動し、事業部長、最年少執行役員として、特に大阪府内における人材育成、就業育成支援に力をいれ、就業率向上に貢献。育休復帰後、大阪万博誘致スポンサーに自ら動き、東京における万博機運醸成イベントを企画した。



うえた かず
植田 和

株式会社百又エージェンシ
代表取締役

電機メーカーを結婚退職後、約13年間の専業主婦を経て1999年営業事務職として入社。既存顧客の保有契約の見直しと、変化に伴う新たなリスクの情報提供・提案を的確に伝達することで業績を向上。2009年管理職に登用。財務の見直しと社内の組織化による営業プロセスの標準化を進め、純資産を10年で約5倍に増やした。2018年より現職。



うだ わかな
宇田 若菜

株式会社 i-plug
マーケティング部 チームリーダー

2013年、創業1年目の株式会社 i-plug に入社し、新卒採用サービス「OfferBox」の営業アシスタントからマーケティングまで幅広い業務に従事。2015年には同社の産休育休を取得。復帰後は主にサービス利用者数増加のための施策設計・分析を担当しながら、学生の約3人に1人が使うサービスへと成長させる。時短勤務で同社初の管理職に就任、効率的な働き方やチームビルディング等を探求しながら同社の成長に大きく貢献している。



おおかわうち ゆみこ
大川内 由美子

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
関西総務部長

総合職として入社。企業の従業員向けライフプラン・セミナーの講師として頭角を現し、確定拠出年金事業の投資教育部門長に抜擢。業界知名度No.1講師の一人として顧客企業の獲得にも貢献。2001年社長賞受賞。生命保険事業、内閣府男女共同参画局への出向を経て、2018年から現職。関西初の女性部長として、地区の女性活躍推進にも力を注ぐ。



おおはし せいこ
大橋 盛子

有限責任あずさ監査法人
第2事業部 パートナー

入所当時より監査業務にとどまらず、JSOX支援、アドバイザー業務など幅広い取り組みを行い、IFRS導入支援等の新規分野にも積極的にチャレンジ。2018年同社女性初のライン人事責任者に就任し、人材育成に尽力。専門職大学院の非常勤講師、女性経理財務担当者活躍のための講座運営等、公認会計士全体の後進の育成に熱心に取り組む。



かみむかい ちかこ
上向井 千佳子

ミズノ株式会社
主任研究員

商品開発本部で25年間健康・スポーツ科学の研究等に従事。女性研究員の草分け的存在として、誰もが元気で楽しく健康的な生活を送ることができるような運動プログラムを開発。2015年に健康・生活者ビジネス推進室室長に就任。開発したプログラムは国内外で活用され、自社にコトビジネスという新しいカタチを取り入れることに貢献した。



かわさき たえ
河崎 多恵

株式会社ザ・デイ・スパ
代表取締役

外資系企業勤務を経て、2006年ザ・デイ・スパを設立。国内の5つ星ホテル・旅館等を中心に、19箇所（2019年7月現在）のスパオペレーションとコンサルティング、スパ向け化粧品の輸入販売を行う。日本代表アンバサダーとして協会を設立し、「グローバルウェルネスデイ」の普及に貢献。癌患者へのスパトリートメント実施にも取り組む。



くぼ えりこ
久保 絵理子

株式会社ハル
業務統括室 室長

企画営業・ライター職を経て経営幹部に就任。社員誰もが先生・生徒となることで責任感と実務スキル向上につなげる「みんなで先生」等ユニークな社内研修プログラムを考案する。同社の理念である「人と企業と商品を元気にする」最優秀作品を選ぶ社内表彰制度の実行委員長として社員を牽引し、仕事へのモチベーションアップにつなげた。



くりやま あや
栗山 綾

株式会社タオ
介護事業部 スーパーバイザー

2007年パートとして入社。2015年正社員登用、2018年に4店舗を統括するスーパーバイザーに就任。キャリアアップ研修で女性管理者の能力を高め、店舗売上前年比120%を達成。2017年に週30時間、週35時間の労働時間を選べる短時間正社員制度を導入。自ら短時間正社員として成果を出し、その後8名の短時間正社員の誕生につなげた。



さかい しょうこ
坂井 祥子

NPO法人高齢者駆け込み寺グランセーブ
理事長

法律事務所の事務局長としての経験を活かし、高齢化社会や次世代の人材育成に取り組むため2017年に株式会社、2018年にNPO法人を設立。多様な職業をもつ女性スタッフとともに、高齢者の地域サロン開催、幼児・小学生向けプログラミング教室の運営講師派遣、学生の参加による高齢者向けアプリ開発等多彩な事業を展開している。



さわだ かおる
沢田 薫

一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会
企画調整課長 兼
大阪市立男女共同参画センター中央館館長

横浜から出産を機にUターンして現財団に就職。国や近隣自治体からの受託を増やし、財務体質を改善させた。2011年「女性のチャレンジ支援基金」を創設。生活困難を抱える延べ400人以上の女性の就労支援、2019年「大阪女性の未来創造会議」等SDGsの目標「ジェンダー平等」を通じて持続可能な社会をつくる事業を推進。



しまだ くにこ
嶋田 邦子

K's インターナショナル株式会社
代表取締役社長

大学卒業後、輸入住宅会社、外資系機械メーカーで勤務し2006年に契約書やマニュアルなどの翻訳通訳サービスで独立。2015年に法人化したK's インターナショナル株式会社を設立、人材派遣・人材紹介もスタート。企業と人材の両者を幸せにすることを目標とした「オーダーメイド」アプローチで実績を上げる。登録者はグローバル人材中心に3,000人を超える。



しゅうとう ちえ
首藤 千恵

医療法人社団 燦恵会 首藤病院
事務長

小学校教師として務めた後、1990年入職。2002年、負債総額21億円で民事再生申立時より事務長を務める。徹底した業務改善計画の実行、強いリーダーシップで人材育成、業務見える化、経営指数透明化、温かさや優しさの医療実現に取り組んだ。結果、2019年に債務完済、自己資本比率98%という奇跡的回復を果たした。



しんしょう ちかこ
真正 周子

リコージャパン株式会社
西日本請回収第2業務室 室長

大分支社より西日本地区拠点業務の集約キーマンとして大阪に赴任。これまでになかった新規組織の立ち上げに携わり、部門員の即戦力化のための教育、業務の標準化やIT活用による効率化により新組織の早期安定稼働を実現。またCS向上運営委員会の立ち上げにより、自社改善実践事例を基にお客様の業務課題の解決に取り組んでいる。



すぎき まゆみ
杉木 真弓

日本郵便株式会社 近畿支社
郵便・物流営業部 大阪府中部営業統括本部長

窓口で顧客の維持拡大、業績向上を実現。総務部にて局全体の業務・営業の推進管理等を実施。育児と仕事を両立し、女性初の郵便営業統括本部長に昇進。成績向上と後進の育成に努めた。集配局長時は、ゆうパック発送の新規受注先を開拓。増収増益につなげるとともに、年間を通じた安定的な受注に貢献。営業のスペシャリストとして活躍。



せき じゅんこ
関 純子

関西テレビ放送株式会社
専任部次長

1988年入社。「アタック600『関純子のお天気』」「お台所入門」「痛快！エブリデイ」等の番組を担当。勤務時間が不規則な業界の先駆者として育児と仕事を両立。現在も現役アナウンサーとしてCSR番組「カンテレ通信」、イベントの司会、ナレーション、宿直勤務でのニュースや天気予報を担当。管理職として部の運営や後輩の指導にも関わる。



せとぐち えみこ
瀬戸口 恵美子

公益財団法人太平洋人材交流センター
国際交流部長

総務部を経て1993年より国際交流部で途上国人材育成の現場に携わる。途上国の企業経営者を育成するための研修や、中小企業の海外展開支援業務を担当。出産・育児休業を取得後、2014年に国際交流部長に就任。新たに市民向けセミナー「上本町SDGs大学」を企画・開催し、地域貢献に取り組むとともに、センターの認知度を向上させた。



たかはし えみ
高橋 恵美

大阪信用金庫
執行役員 事務管理部長

1980年入庫。2005年に初の女性支店長、2015年に執行役員事務管理部部长に就任。営業店の事務軽減を推進すべく、専用タブレットを利用した「窓口業務サポートナビ」の導入や、伝票の綴り込みや保管が不要の「伝票等イメージ管理システム」の導入を先頭に立ち推進。業務の効率化による時間外勤務の削減に大きく寄与した。



たにぐち のりえ
谷口 典江

大同生命保険株式会社
執行役員 保険金部長

1989年に一般職として入社後、総合職(全国型)へコース変更。不動産部門・企画部門・主計部門・リスク管理部門等で多様な経験を積み、2016年品質管理部長に就任。2018年に女性初の執行役員に就任。保険金部長としてA1の導入や提出書類の省略により保険金の支払を早期化する等、お客さま本位の保険金支払態勢の確立に取り組む。



つじおか さつき
辻岡 五月

大阪シティ信用金庫
北山本出張所 所長

1995年入庫。2013年管理職に昇格。営業課(預金業務)の統括責任者として業績伸展に貢献。2018年に出張所長に昇進、店舗経営を任される。豊富な知識と経験により、預かり資産(投資信託)の獲得増強で収益に大きく貢献。定期積金「みどりの風の道」で2018年度、2019年度に88店舗中1位など輝かしい成果を上げる。



にしたに じゅんこ
西谷 淳子

エスベック株式会社
執行役員 サステナビリティ推進室長 兼
コーポレートコミュニケーション部長

1982年に入社後、主にCI、ブランディング、販売促進、広報、工業デザインに携わる。2014年に女性初の部長となり、企業理念・長期ビジョンの策定と浸透、ブランディング、IR広報、全社教育を担当し、女性活躍推進の責任者を兼務。2017年に女性初の執行役員に就任。2019年よりサステナビリティ推進室長として上記に加えSDGsの推進を担当。



のぞえ みちこ
野添 美智子

三井住友海上火災保険株式会社
関西総務部 会計チーム長

1987年入社。支店勤務、出産を経て、2009年に地域勤務型社員初の課長代理に就任。2012年に女性初の業務(営業推進)課長に就任。未取引代理店の登録を実現するなど収益向上に大きく貢献。2015年に選抜され受講した経営スクール・プレゼンで最優秀賞を受賞。2016年より会計チーム長として西日本全般の保険料精算業務、決算業務を統括する。



はじゃけ ふみこ
羽者家 富美子

明治安田生命保険相互会社
大阪本部 審議役

1989年営業職員として入社、後に全社で制度化された対面のアフターフォロー活動を自らの考えで入社時から実践。お客さまに寄り添う姿勢で抜群の営業成績を挙げ続け、社内表彰を多数受賞。3人の出産、支部マネージャー職、営業所長を経て、2010年に総合職に登用され、経営管理職として活躍。自らの経験を踏まえ、後進の指導に取り組む。



ふじい みほ
藤井 美穂

アイトス株式会社
執行役員 総務人事部 部長

アルバイトとして入社後正社員へ転換。広報・マーケティング室次長として、番組制作、社歌や Mascot 活用により社内外へ会社をアピール。2012年より社内女性のみのプロジェクトを設立。リーダーとして「ありがとうカード」配布によるコミュニケーション力向上など、働きやすい職場づくりに取り組む。2017年初の女性執行役員に就任。



ふじえ ようこ
藤江 洋子

株式会社フジプラス
デジタルイノベーショングループ 次長

クリエイティブ部門のプランナーとして入社。コピー制作と企画提案を担当。英語力の向上や知的財産管理技能士の取得で仕事の幅を広げる。顧客向けの情報誌の企画・編集、マーケティングの講師を務めるなど、既存顧客との関係強化、新規顧客の獲得に貢献。2012年管理職に就任。勉強会を実施するなど、後進の育成にも積極的に取り組む。



まえはら かずみ
前原 和美

積水ハウス株式会社
設計部 インテリア推進グループ 部長

1990年入社。市場にある多くの建材から、積水ハウスオリジナルのインテリアコーディネートシステムを開発し、全国の事業所に於いて洗練された高レベルな提案を可能にした。住宅、非住宅、海外事業を手掛けると共に、全社約400人いるインテリアコーディネーターの業務制度を構築し、人材育成にも注力。2017年に部長職に就任。



ましば ゆき
眞柴 由紀

株式会社関西みらい銀行
高槻支店高槻中央出張所長

2001年入社。個人営業担当者として顕著な成果を収め、2009年に営業課長、2016年に出張所長に就任。部下社員のレベルアップのため、自らの経験やノウハウを伝えるミーティングを毎週実施し、2018年に店舗業績表彰「優秀賞」を受賞。女性管理職のロールモデルとして講話を行う等、社内の女性活躍推進にも貢献している。



まつだ ともえ
松田 智恵

株式会社からくさホテルズ関西
部長

オフィスビルや商業施設のプロパティマネジメントを担当し、2003年に課長昇進後、育児休業を2回取得。女性活躍推進プロジェクトのリーダーとして、多くの女性を採用し、忙しい女性のために通勤で着たいと思える制服を整備する等、働く環境を整える取組を多数実施。2018年部長昇進。インバウンド向け宿泊特化型ホテルで多国籍社員の雇用・人材育成を推進中。



みぞぐち なほ
溝口 奈穂

株式会社ウィル
代表取締役

短大卒業後、アウトソーシング会社でコールセンター運営等に携わる。出産を機に退職、専業主婦を経て、コンサルティング会社の総務部長に就任。多くの社長が事務作業を苦手としていることに着目し、2010年に事務代行とバーチャルオフィス、社員研修事業を総合的に提供するビジネスセンターを開設。約500社の起業家をサポートしている。



もり ひろこ
森 寛子

株式会社三社電機製作所 技術本部
技術企画部 半導体技術企画課 技師

2007年入社後、品質保証部にて産業用電源製品の検査に従事。2010年開発へ異動後、半導体モジュールや電子部品等の不良調査・解析業務を経て、2012年から半導体モジュール設計・開発や要素技術開発に従事。半導体モジュールの更なる信頼性向上のため、新たな設計・解析手法を確立し、社内の設計技術向上に取り組んでいる。



もりた さちこ
森田 祥子

株式会社 Terrace
代表取締役

大手監査法人で経理を担当後に転職。2003年より老舗ブランド店舗で婦人靴を担当。ヨーロッパ靴の特徴や微調整を学び、2007年にヨーロッパ産婦人靴の専門店を創業。修理設備完備の2店舗を大阪で展開。子育てと両立しながら、世界第一線の品質・デザインで、幅広いサイズの靴を提供。東京での3店舗目展開に向けて準備を進めている。



わだ いくこ
和田 郁子

株式会社ドコモCS関西
神戸支店 法人営業部 担当課長

1990年に日本電信電話株式会社入社以来、2回の出産・育児休職を経ながら、法人営業一筋。2002年に法人営業力強化を目的に株式会社NTTドコモへ転籍。位置情報ソリューション専門担当にて法人営業に従事。2008年より担当課長として営業チームを率い、新スキームでコンペを勝ち取り、社内表彰を受賞するなど高い成果を上げる。2017年より現職。



大阪サクヤヒメ賞受賞者



活躍賞受賞者



活躍賞受賞者

表彰概要

大阪サクヤヒメ表彰について

企業活動や文化的活動で活躍する女性リーダーを表彰する制度で、佐藤茂雄前会頭の顕彰事業として2016年度に創設。

本事業は、政府が推進する政策目標「2020年に指導的地位に占める女性の割合を30%にする（通称：202030）」の実現の一助とするため、2020年度まで実施いたします。

表彰の種類

大阪サクヤヒメ大賞・大阪サクヤヒメ賞・活躍賞

表彰対象

下記のいずれかに該当する方。

- 本会議所法人・団体会員に属する女性役員または女性管理職・管理職に相当する高度な専門職
- 本会議所個人会員である女性個人事業者
- 大阪に活動拠点をもち文化的活動に携わる女性で本会議所会員の推薦を受けた方

選定方法

「大阪サクヤヒメ表彰選定委員会」にて、業績および

- ①人材育成・ワークライフバランス
- ②社会貢献・都市魅力向上

のいずれかの活動項目に基づき審査（1次審査：書類選考、2次審査：書類・インタビュー・動画選考）を行う。

第4回大阪サクヤヒメ表彰 表彰式・祝賀パーティ

2019年12月6日（金） ホテルニューオータニ大阪

第4回大阪サクヤヒメ表彰 記念フォーラム

2020年2月26日（水） 大阪商工会議所

ロゴマークコンセプト

大阪を動かす原動力が集約し、未来を花咲かせる大阪商工会議所。そこで活躍する女性を表現するために、「OSAKA」の「O（正円）」が集まって形づくられる花のモチーフをデザイン。

日本の伝統色である淡い桜色と濃いピンクで、しなやかさと力強さが調和している様を表現しています。



（本冊子に記載の情報は2020年1月現在のものです。）

大阪商工会議所 人材開発部 研修・採用支援担当
「大阪サクヤヒメ表彰」係
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8
TEL 06-6944-6499

[HP] <http://www.osaka.cci.or.jp/osakasakuyahime/>
[Facebook] <https://www.facebook.com/osakasakuyahime/>